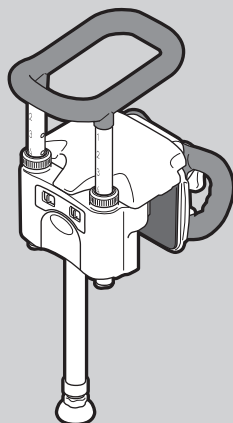


安^{あんじゅ}寿

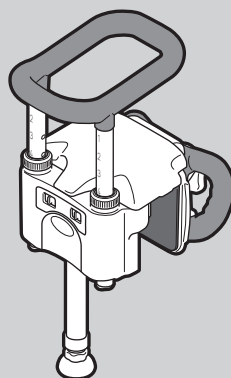
ユニットバス対応浴槽手すり

USTシリーズ

共通取扱説明書



ユニットバス対応浴槽手すり
UST-130UB

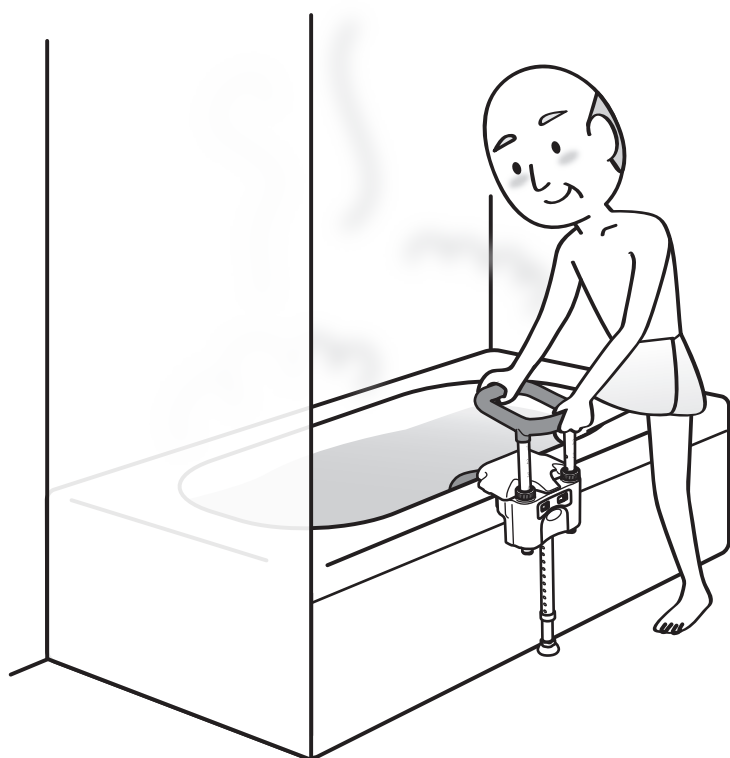


ユニットバス対応浴槽手すり
UST-130UB ショート

SIAA
防カビ加工

最大使用者体重：80kg

このたびはユニットバス対応浴槽手すり UST-130UB および UST-130UB ショートをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この浴槽手すりシリーズは介護が必要な方も、そうでない方もお使いいただけます。快適な入浴をお楽しみください。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

取扱説明書を読んだ後は
必ず保管してください。



もくじ



確認しましょう P. 3～4

- ・商品の確認 3
- ・各部の名称 3
- ・商品の寸法図と仕様 4



安全上のご注意 P. 5～6



取り付ける前に P. 7～11

- ・取り付けできない浴槽・場所 7
- ・取り付けできる浴槽の目安 8
- ・可動フレーム幅を調節しましょう 9～11



取り付けましょう P.12～15

- ・取り付けましょう 12～13
- ・グリップの高さ調節をしましょう 14
- ・高さ調節のしかた 14～15



使いましょう P.16～17

- ・ご使用になる前に 16
- ・使いましょう 17



お手入れしましょう P.18～20

- ・お掃除のしかた 18
- ・保管のしかた 18
- ・点検のしかた 19～20



困ったときには P.21～23

- ・よくあるご質問 21～22
- ・不具合が発生したとき 22
- ・保証とアフターサービス 23



確認しましょう



安全上のご注意



取り付ける前に



取り付けましょう



使いましょう



お手入れしましょう



困ったときには

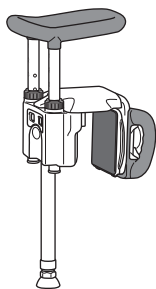
👉 確認しましょう

商品の確認

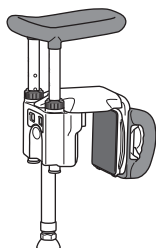
梱包品の確認

本体および付属品が揃っているか下図を見ながら梱包品を確認してください。

本体 UST-130UB



本体 UST-130UB
ショート



※梱包時の脚パイプは上から
5 番目の高さです。

付属品

六角レンチ

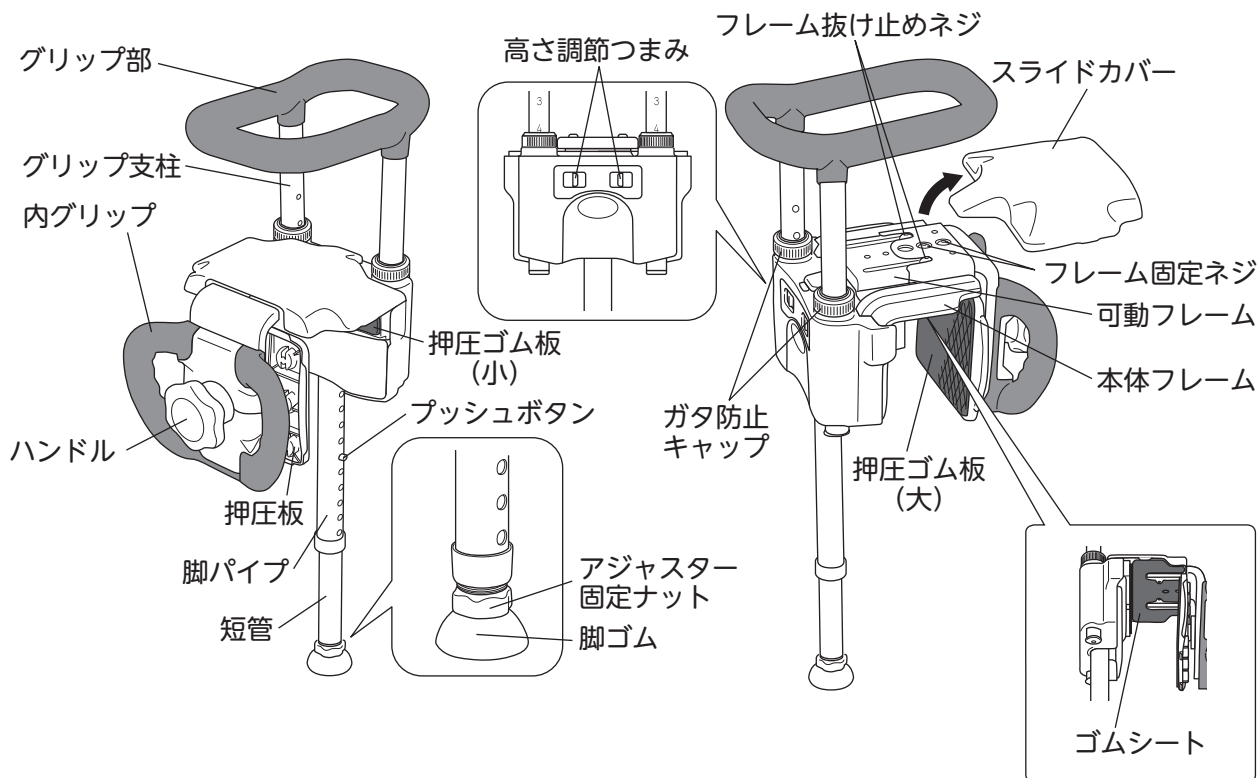
4 mm 1 本



- ・可動フレームの幅調節用 (P.10 ~11)
- ・ハンドル空回り解除用 (P.21)

各部の名称

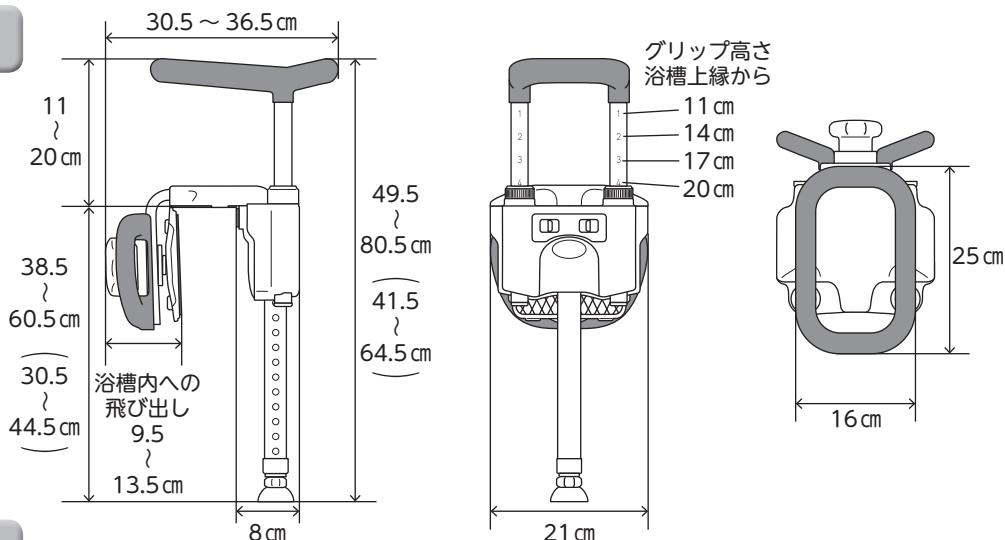
共通 (本体) のなまえ



商品の寸法図と仕様

図中の () は、UST-130UB ショートの寸法です。

商品寸法図



仕 様

品名	ユニットバス対応浴槽手すり UST-130UB / UST-130UB ショート	
構成部品	部 品 名	材 質
	ハンドル、内グリップ、押圧板、スライドカバー	ポリプロピレン
	アジャスター固定ナット	ポリプロピレン ※ナット部分はステンレス
	押圧ゴム板	エラストマー
	脚ゴム	合成ゴム（防カビ加工）
	ゴムシート	合成ゴム
	フレーム抜け止めネジ、フレーム固定ネジ、 プッシュボタン用バネ、グリップ部、グリップ支柱	ステンレス ※グリップ部はエラストマー被覆 （防カビ加工）
	可動フレーム、脚パイプ、短管	アルミニウム
	本体フレーム	アルミニウム、ポリプロピレン
サイズ	UST-130UB	21 × 30.5 ~ 36.5 × 高さ 49.5 ~ 80.5cm グリップ高さ（浴槽上縁から 11 ~ 20cm）（共通） 浴槽壁高さ対応範囲（洗い場床から 38.5 ~ 60.5cm）
	UST-130UB ショート	21 × 30.5 ~ 36.5 × 高さ 41.5 ~ 64.5cm グリップ高さ（浴槽上縁から 11 ~ 20cm）（共通） 浴槽壁高さ対応範囲（洗い場床から 30.5 ~ 44.5cm）
重量	UST-130UB	約 4.5kg
	UST-130UB ショート	約 4.4kg

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。



SIAA 防カビ剤ポジティブリスト第 JP0501016A0001P 号使用
防カビ加工部位：グリップ部（エラストマー被覆部分）、脚ゴム
防カビ加工方法：練りこみ

⚠ 注意事項

- ・防カビ試験は、SIAA 指定法にて実施しています。
- ・防カビ加工は、カビを死滅させるものではありません。
- ・使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- ・SIAA の安全性基準に適合しています。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ 取り付ける前に

✖ 取り付けましょう

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



必ず行うこと

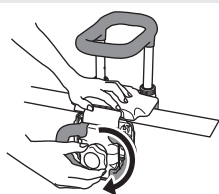


以下を守らないと製品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損したりする原因になりますので、必ず行ってください。

取り付ける前に、取り付けの条件を確認すること

詳しくは… 7～11 ページへ

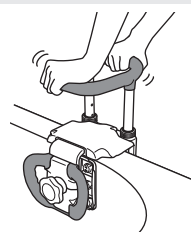
ハンドルのしめ付けは、必ず「カチッ」と音が鳴るまで回し、しめ付けること。その後軽くゆらしてガタつきがないことを確認し、もう一度「カチッ」と音が鳴るまでしめ付けること



浴槽にお湯(水)を入れた状態で使用すること
浴槽によっては、浴槽の移動や転倒、けがの原因になります。

脚ゴムが必ず床面に接するように調節すること
脚ゴムが床面にしっかり接地していないと、浴槽から製品が外れるおそれがあります。

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右に揺らしてみ、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認すること



ガタついている場合は… 13 ページへ

ハンドルが浴槽側へ向くように取り付けること
取り付け方向が逆になると、しっかり固定できず、浴槽から製品が外れるおそれがあります。



絶対にしないこと

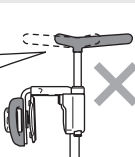


以下は、浴槽が破損したり、使用中に手すりを外れ、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

改造や分解をしないこと

例) グリップを本体から抜き取り、反対向きに取り付けないこと

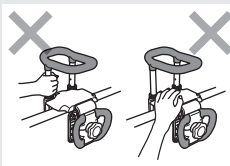
力の加わりかたが変わるため、製品が浴槽から外れやすくなります。



体重が80kgを超える方は使用しないこと

グリップ部、内グリップ以外の部分を支えないこと

手がすべるおそれがあります。



グリップ部、内グリップ以外の場所を持って製品を持ち運ばないこと

手がすべり、製品が落下して破損やケガの原因になります。

脚ゴムを引きずって持ち運ばないこと

脚ゴムが削れ、しっかり固定できず、浴槽から製品が外れる原因になります。

取り付けに不安のある方、力の弱い方は取り付けないこと

しっかり取り付けしていないと、浴槽から製品が外れるおそれがあります。

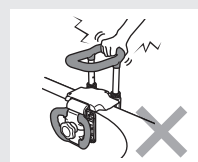
子どもを遊ばせるなど、浴槽手すり以外の用途で使用しないこと

けがの原因になります。



浴槽手すりに過度な荷重をかけないこと

反動をつけて使用したり、全体重が製品にかかるような乱暴な使いかたをすると、製品が浴槽から外れるおそれがあります。



製品を取り付けたままの状態から、ハンドルを回すだけのしめなおしを行わないこと

製品を取り外さずハンドルだけしめると、浴槽が破損する原因になります。

しめなおしを行う際は、一度製品を取り外し、改めて設置しなおしてください。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。



必ず行うこと



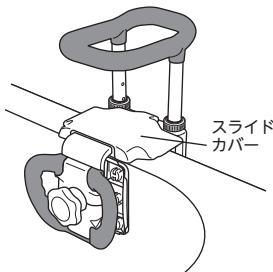
使用する前に、必ず以下の点を確認すること



安全な使いかた (必ず守ること)

スライドカバーが
取り付けられていること

詳しくは…19 ページへ



追い炊き付き給湯器や直焚き浴槽、お湯が循環している浴槽(24時間風呂)で使用する場合は、入浴時のみ使用し、使用していないときは浴槽から取り外すこと

製品が変形または破損する原因になります。

身体状況が不安定な方(ふらつきがある方など)は、
介助者が付き添うこと

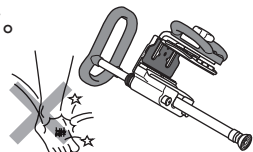


絶対にしないこと



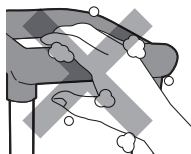
足の上などに落とさないこと

本製品は重いため、けがや
床の凹みの原因になります。



製品や手に石鹸や洗剤の泡が付いた状態で 使用しないこと

手がすべり、けがの
原因になります。



温泉水や、入浴剤は使用しないこと

製品が劣化する原因になります。



45℃以上のお湯では使用しないこと

ゴムシートがはがれやすくなります。



塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている 浴槽には使用しないこと

製品が劣化する原因になります。
※通常の水道水では問題ありません。

温泉施設や大浴場など不特定多数の方が 使用する環境で使用しないこと

製品が劣化し、破損する原因になります。

●お手入れ・保管時の注意

以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

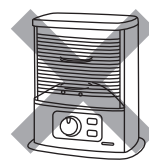
- ・シンナー ・クレンジール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤(洗剤)や熱湯(煮沸消毒など)による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



ストーブなどの火気に近づけないこと

火災や変形、変色の原因になります。

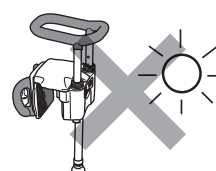


アルコール以外で消毒しないこと

変色や劣化の原因になります。

屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

取り付け前

取り付け時

使用時

お手入れ時

困ったときには

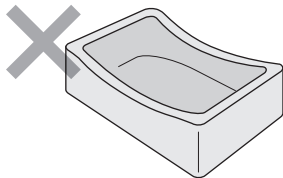
✖ 取り付ける前に

■ 取り付けできない浴槽・場所 ■

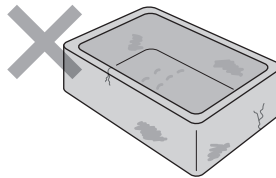
浴槽…木製の浴槽、大理石の浴槽、中身が空洞のタイル張り浴槽

場所…タイル敷きの洗い場、小石敷きの洗い場、クッション性のあるやわらかい床面、大浴場、温泉施設
上記以外でもご使用前に製品が浴槽へしっかりと固定できるか確認してください。

■ 浴槽壁の高さが異なる浴槽

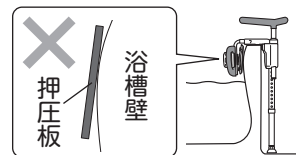


■ 著しく劣化した浴槽



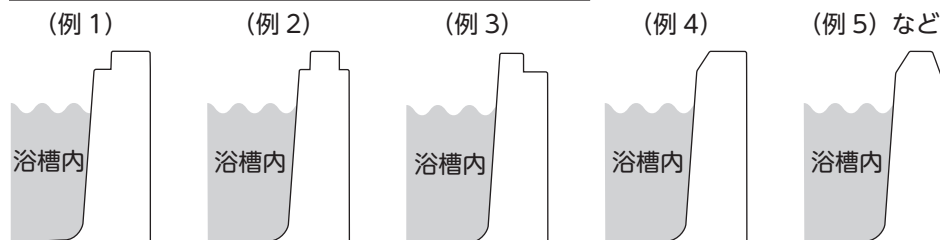
- ひびの入った浴槽、表面がざらついている浴槽など、劣化した浴槽に取り付けを行うと、浴槽が破損するおそれがあります。
- 浴槽の経年劣化は使用環境により異なります。

■ 浴槽の内側が大きく湾曲している浴槽



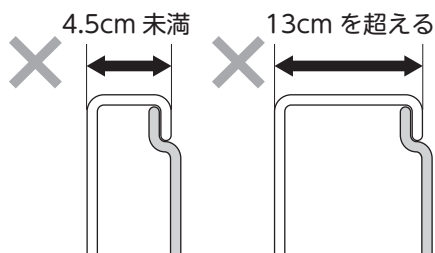
押圧板と浴槽壁の間にすき間が生じるため、製品が抜ける原因になります。

■ 浴槽上縁部に段差や、傾斜のある浴槽



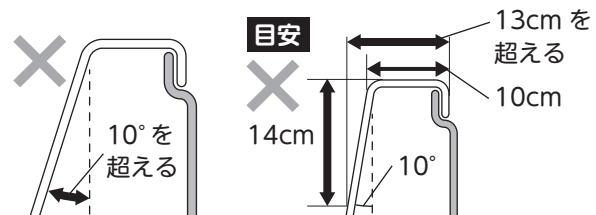
浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、浴槽からはずれる可能性があるため取り付けないでください。

■ 浴槽壁の厚みが 4.5cm 未満の浴槽 ■ 浴槽壁の厚みが 13cm を超える浴槽

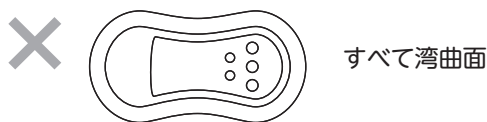


● 浴槽内壁の傾斜が 10° を超える浴槽

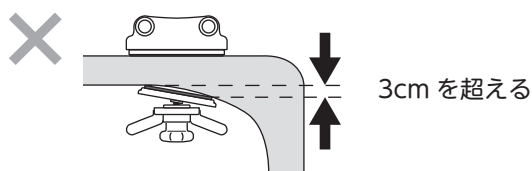
傾斜が 10° 以下であっても、浴槽上縁より 14cm 下の厚みが 13cm を超える場合、取り付けができません。



■ 湾曲の大きい浴槽、部位（コーナー部）

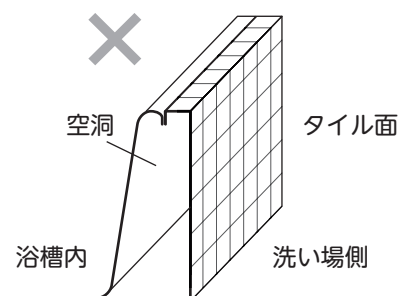


浴槽壁の厚みの最も厚いところと最も薄いところの差が 3cm を超える箇所には取り付けできません。



■ タイル貼りで中身が空洞の浴槽

浴槽外側がタイル貼りで中身が空洞の場合は、取り付けできません。

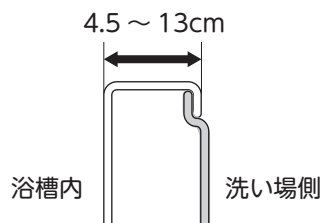


※ 上記条件にあてはまる浴槽へ取り付けて、浴槽が破損した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 取り付けできる浴槽の目安 ■

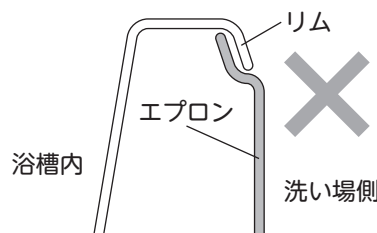
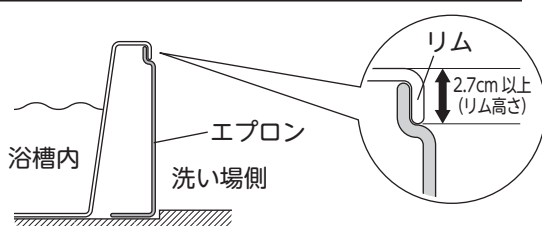
取り付けできる浴槽は目安ですので、取り付けの判断ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。浴槽:FRP製、ステンレス製、ホーローの浴槽、タイル張りの浴槽(中身が空洞でない場合に限る)

■ 浴槽壁の厚みが 4.5 ～ 13cm



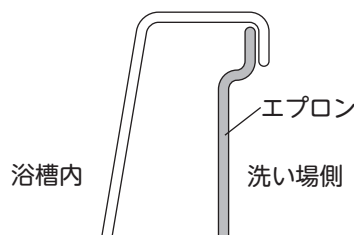
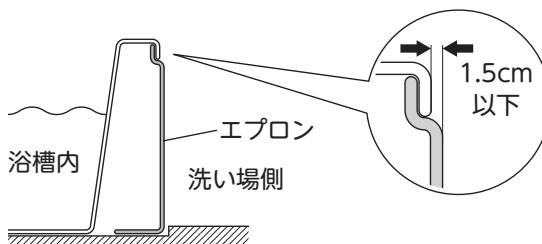
■ 浴槽壁（洗い場側）のリム高さが、2.7cm 以上

※リムが垂直でない浴槽には取り付けできません。



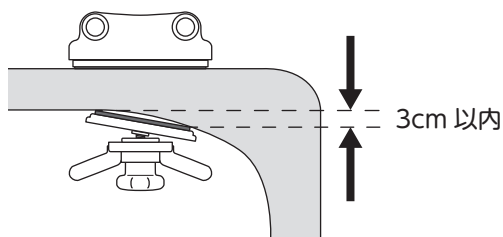
■ エプロンの出幅が浴槽壁（洗い場側）より 1.5cm 以下

※浴槽壁よりエプロンが出ていない場合は問題ありません。



■ 浴槽の厚み幅の差が 3cm 以内

浴槽壁の厚みの最も厚いところと最も薄いところの差が 3cm 以内となる箇所に取り付けできます。



※コーナー部など、押圧ゴム板の接触する面が湾曲している場合、押圧板が変形することがあります。

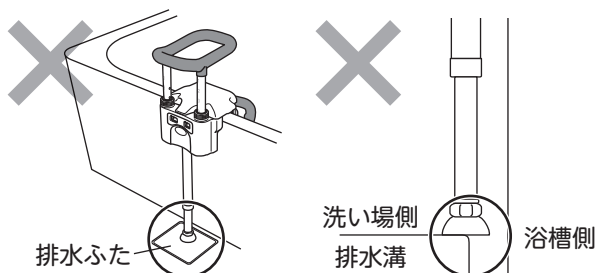
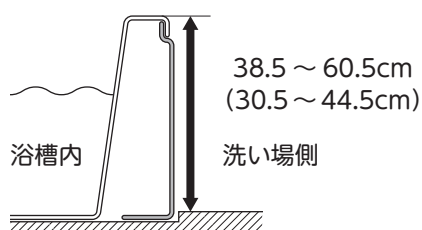
■ 脚ゴムの接地状態

脚ゴムの底面が床面とすき間なく接地していることを確認してください。

脚ゴムが洗い場の排水溝や排水ふた、グレーチングに接していないことを確認してください。

■ 浴槽壁の高さが 38.5 ～ 60.5cm (30.5 ～ 44.5cm)

※図中の()は、UST-130UB ショートの寸法です。



注意



取り付け条件に適合している場合でも、長期の使用による浴槽の劣化や利用状況によって浴槽破損の可能性があります。使用中に異常を感じた場合は、P18 ～ 20 のお手入れしましょうをご確認ください。

確認しましょう

！安全上の注意

✕取り付けの前に

✕取り付けましょう

？使いましょう

！お手入れしましょう

？困ったときには

✖ 取り付ける前に

可動フレーム幅を調節しましょう

注意



P. 7～8の取り付け条件に従って取り付けること

取り付けに不安のある方、力の弱い方は取り付けないこと

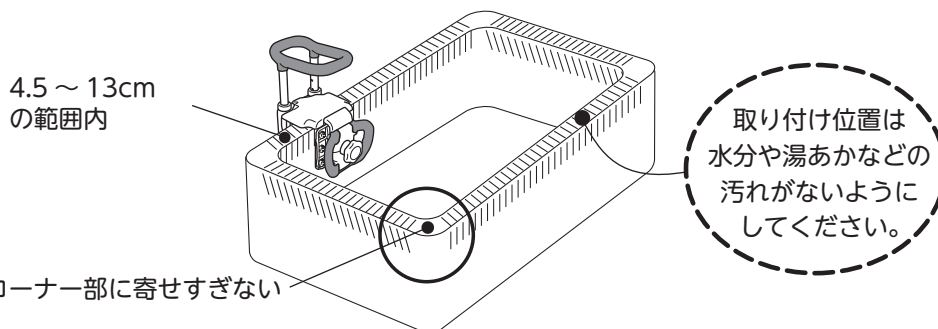
取り付けに不安のある方は、介助者などのしっかり取り付けられる方が取り付け、取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。しっかり取り付けられていない状態で使うと、転倒の危険があります。

取り付ける位置を決めます

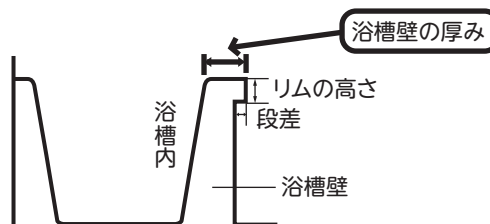
取り付け位置は、使う方の体格や入浴動作をしやすいよう、お買い上げの販売店やケアマネジャーなどの専門家に相談することをおすすめします。



※浴槽壁の厚みが、以下の範囲を満たす場合、取り付けができます。



1. 取り付け位置の浴槽壁の幅 (厚み) を測ってください

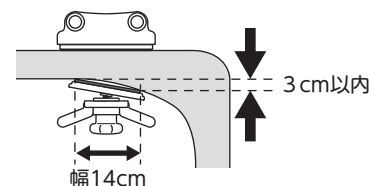


●浴槽内壁の傾斜が10°を超える浴槽には取り付けできません。
傾斜が10°以下であっても、浴槽上縁より14cm下の厚みが13cmを超える場合、取り付けできません。



●端に寄せて取り付ける場合は、浴槽壁の厚みの最も厚いところと最も薄いところの差が3cm以内であることを確認してください。

※この図はわかりやすいように本体カバー、グリップの図を省略しています。



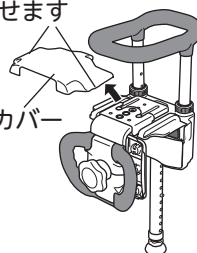
浴槽壁の厚みによって、あらかじめ本体の調節が必要な場合があります。

P.10 **3. 可動フレームの調節範囲を確認します** の図に従い、取り付ける浴槽の厚みに合わせて、可動フレームをずらし、幅調節を行ってください。

2. スライドカバーを外します

ツメの部分を上げると
簡単に外せます

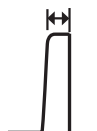
スライドカバー



3. 可動フレームの調節範囲を確認します

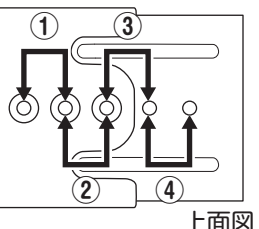
浴槽壁の厚みとフレーム幅を合わせます。P. 9 で測った浴槽壁の厚みが、下図の
範囲①～④ のどれに適合するか確認し、下図のようにフレーム幅を調節してく
ださい。

浴槽壁の
厚み

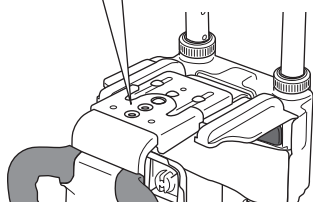


フレーム幅調節時の
フレーム固定ネジ取り付け位置

固定ネジ
取り付け位置

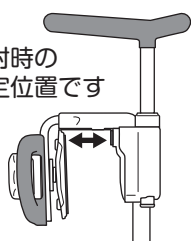


上面図



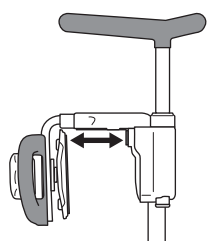
範囲① 4.5～7.0cm

※開封時の
固定位置です



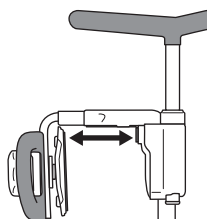
側面図

範囲② 6.5～9.0cm



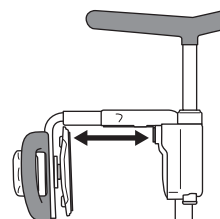
側面図

範囲③ 8.5～11.0cm



側面図

範囲④ 10.5～13.0cm



側面図

範囲①

「8. 固定状況を確認します」へ

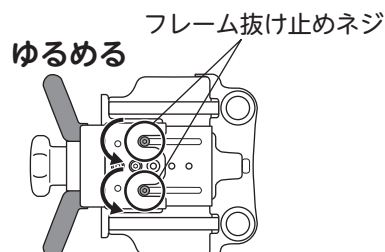
範囲②～④

「4. フレーム抜け止めネジをゆるめます」へ

4. フレーム抜け止めネジをゆるめます

フレーム抜け止めネジを付属の六角レンチでゆるめ
てください。

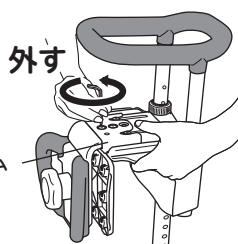
※このネジは可動フレームの不意な脱落を防止するための
ネジです。可動フレームの位置を調節する際は、完全に
取り外さないでください。



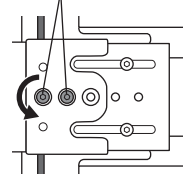
5. フレーム固定ネジを外します

可動フレームを支えながら、付属の六
角レンチでフレーム固定ネジを外して
ください。

可動
フレーム



フレーム固定ネジ



確認
しまし
よう

！安全
上のこ
注意

✕取り
付け
る前
に

✕取り
付け
まし
よう

♡使
いま
し
よう

💧お
手
入
れ
し
ま
し
よう

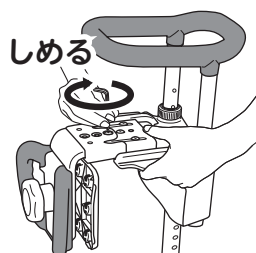
？困
った
とき
には

✖ 取り付ける前に

6. 可動フレームをスライドさせ、フレーム固定ネジをしめます

3. 可動フレームの調節範囲を確認します

の図に合わせて、可動フレームをスライドさせ、付属の六角レンチでフレーム固定ネジをしめてください。



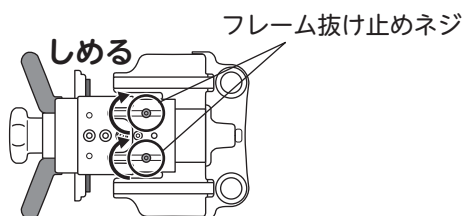
警告

フレーム固定ネジ
(2本)でしっかり
締め付けること

フレーム
固定ネジ

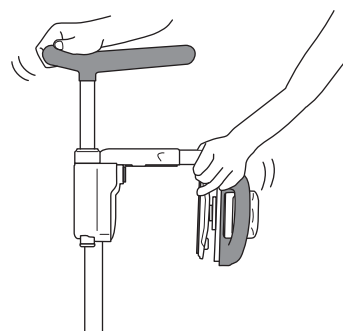
7. フレーム抜け止めネジをしめます

フレーム抜け止めネジを付属の六角レンチでしめてください。



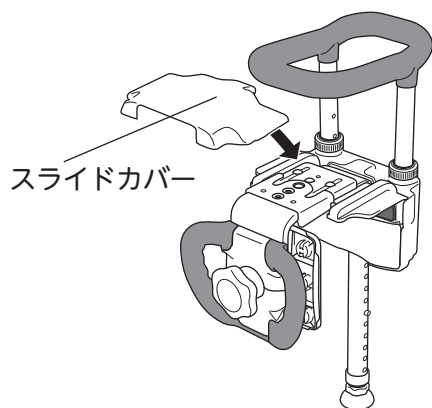
8. 固定状況を確認します

可動フレームがしっかり固定されていることを確認してください。ぐらついた場合は、フレーム固定ネジをさらにしめ、しっかり固定してください。



9. スライドカバーを取り付けます

スライドカバーを取り付けてください。

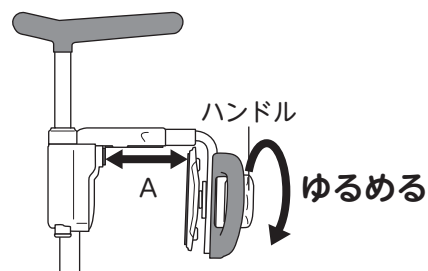


✳️ 取り付けましょう

取り付けましょう

1. ハンドルを回し、押圧板を広げます

ハンドルを左に回し、Aの部分が一番広い状態にしてください。



注意



ハンドルを左に回しすぎると、ハンドルが空回りしてしまうので、ご注意ください。
万一、空回りした場合は、P.21 を参照し、解除してください。

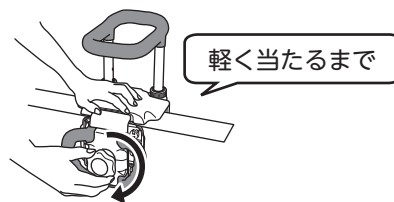
2. 製品を浴槽壁にのせます

ハンドルが浴槽側に向くように浴槽壁の取り付けたい位置に製品をのせてください。



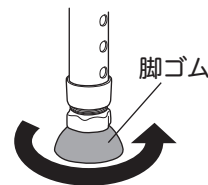
3. 製品を浴槽に仮固定します

製品を水平にし、ハンドルを右方向に回して浴槽の壁に軽く当たるまでしめてください。

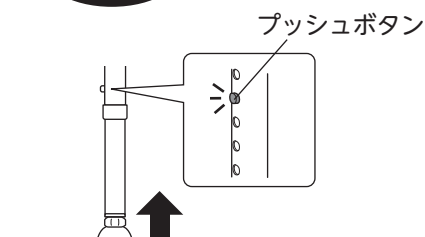


4. 脚パイプの位置を合わせます

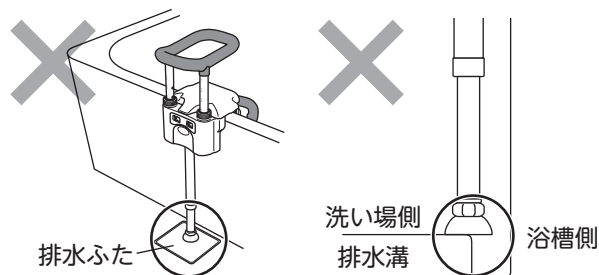
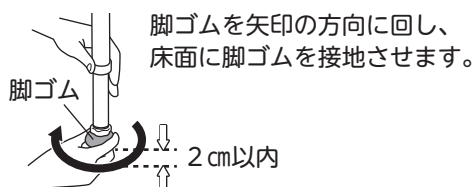
- ①脚ゴムのネジが短管へ最後まで入った状態にします。
※開梱時の脚パイプの位置は以下の穴位置に設定されています。
UST-130UB：1番上の穴
UST-130UB ショート：上から5番目の穴



- ②調節は、脚部にあるプッシュボタンを押しながら短管を動かし、床面に接地する位置から短管を上を移動させ、最も近い穴にプッシュボタンを合わせます。
※プッシュボタンが短管の穴から確実に飛び出したことを確認してください。



- ③脚ゴムを床面に接地するまで回転させ、しっかり接地させてください。
※脚ゴムの調節範囲は2cm以内としてください。
※脚ゴムが洗い場の排水溝や排水ふた、グレーチングに接していないことを確認してください。



👉 確認しましょう

❗ 安全上の注意

✳️ 取り付けの前に

✳️ 取り付けましょう

👉 使いましょう

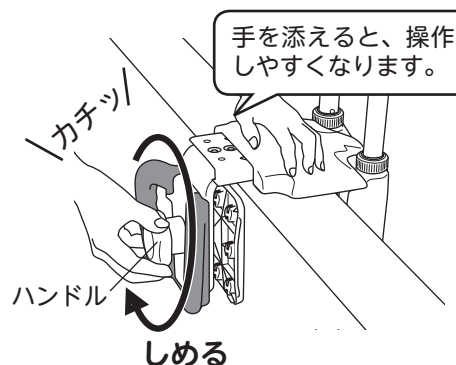
💧 お手入れしましょう

❓ 困ったときには

✖ 取り付けましょう

5. 製品を浴槽に固定します

製品を水平にし、ハンドルを「カチッ」という音が鳴るまで、右に回してしめてください。
(ハンドルのしめ付けがかたくなり、最後にガクツとする感覚があります。)



6. アジャスター固定ナットを固定します

脚ゴムが床面に接地した状態で、アジャスター固定ナットを図の方向に回転させ、固定させてください。

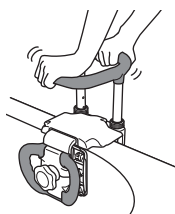


7. 固定状況を確認します (完了)

※必ずこの手順を行ってください。しっかり取り付いていない可能性があります。

最後に、グリップを握り、前後左右に軽くゆらし、しっかりと取り付けられ、動かないことを確認し、もう一度ハンドルを「カチッ」という音が鳴るまでしめてください。

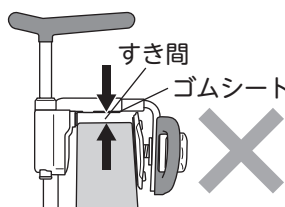
① 軽くゆらして確認



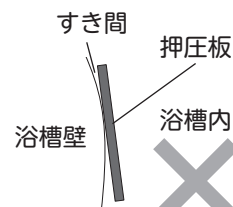
② もう一度しめる



③ 浴槽上縁と製品の間に
すき間がないことを確認



④ 押圧板と浴槽壁の間に
すき間がないことを確認



外しかた

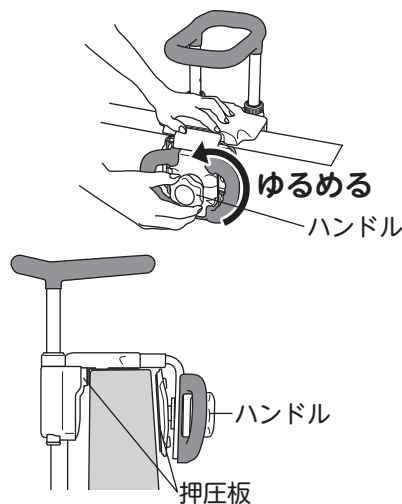
① ハンドルを左に回して、ゆるめてください。

※浴槽壁から製品が落下しないように手を添えてください。

② 押圧板が確実に浴槽壁から離れていることを確認し、浴槽から外してください。

製品を浴槽から取り外すときは、ハンドルの回しすぎ（ゆるめすぎ）にご注意ください。

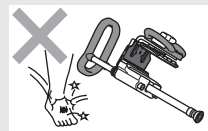
もしゆるめすぎてハンドルが空回りした場合は、P.21「ハンドルが空回りしたときの解除方法」を参照し解除してください。



注意



足の上などに落とさないこと
けがや床の凹みの原因になります。

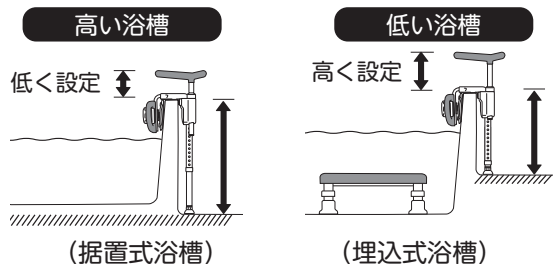


グリップの高さ調節をしましょう

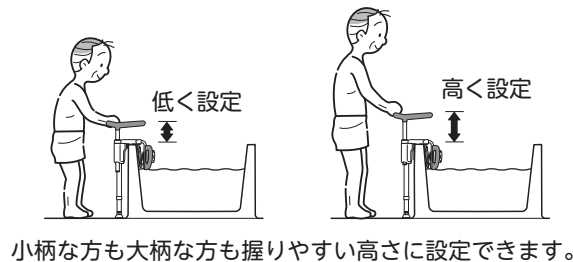
高さ調節のめやす

浴室環境や利用者の体格、症状に合わせて、グリップの高さ調節を行ってください。

① 浴槽に合わせて高さ調節



② 体格に合わせて高さ調節



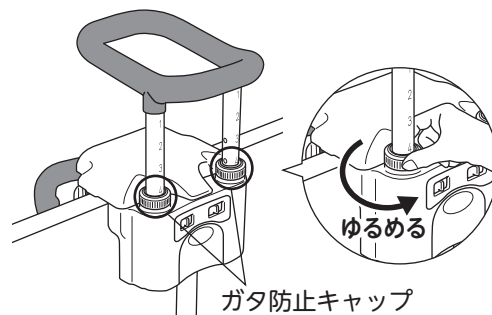
浴槽台との組み合わせがおすすめ
洗い場と浴槽内を同じ高さにすると、
またぐとき身体のバランスが安定し
ます。



高さ調節のしかた

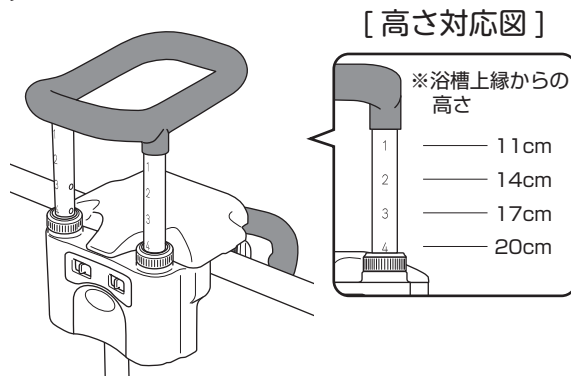
1. ガタ防止キャップをゆるめる

左右のガタ防止キャップを左に回
して、ゆるめてください。



2. 高さを合わせる

① 高さ対応図を確認してください。
※開梱時は浴槽の縁から 11cm の
高さに設定されています。



確認しましょう

！安全上の注意

✕取り付けの前に

✕取り付けましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

✖ 取り付けましょう

2. 高さを合わせる (つづき)

- ② グリップ支柱のグリップ部を持ちながら、高さ調節用つまみを図のようにつまんで、手すりを上下に動かしてください。

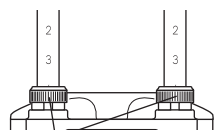
注意



②の作業をするときは、**必ずグリップ部を持つこと**がけがをするおそれがあります

数字の合わせ方

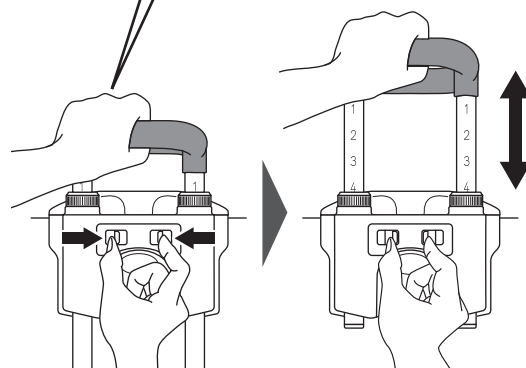
例) 4 (20cm) に合わせる場合



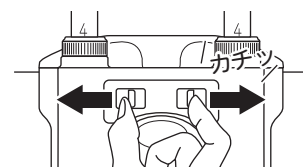
ゆるめた
ガタ防止キャップ

合わせたい高さの支柱の数字がガタ防止キャップで隠れる位置に合わせてください。

手すりが下がらないように持つておく



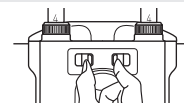
- ③ グリップ支柱の数字までスライドさせて、「カチッ」とはまるところに合わせます。同時に、高さ調節用つまみが元の位置に戻ります。



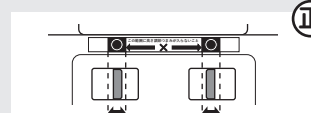
注意



高さ調節用つまみを離す際に、指を挟まないように注意してください。



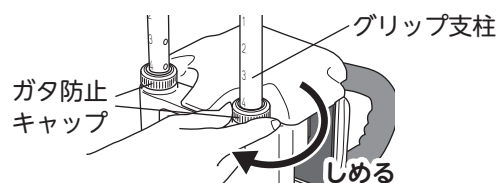
高さ調節用つまみの位置が正しい位置にあるかを確認し、正しい位置にない場合は、グリップを上下にスライドさせ、高さ調節用つまみを正しい位置に合わせてください。



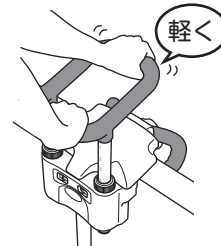
正しい位置

3. ガタ防止キャップをしめて確認する (完了)

- ① 1 でゆるめたガタ防止キャップを右に回して、グリップ支柱を固定してください。



- ② 最後に、グリップを握り、前後左右に**軽く**ゆらし、動かないことを確認してください。

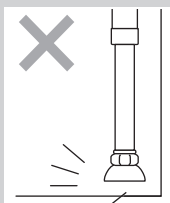


ご使用になる前に

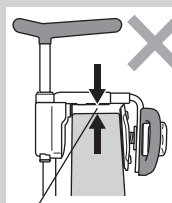
警告



製品がしっかりと
浴槽に固定され、脚
ゴムや本体フレー
ムに浮きがないこ
とを確認すること



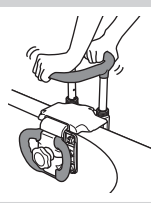
すき間



すき間

確認方法

製品を前後左
右に軽くゆら
して確認して
ください。



詳しくは…19 ページ「毎回の点検」へ

注意



身体状況が不安定な方（ふらつきがある方など）は、
介助者が付き添うこと



警告

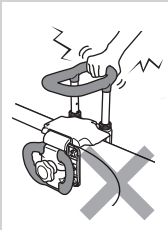


子どもを遊ばせるな
ど、浴槽手すり以外の
用途で使用しないこ
と
けがの原因になります。

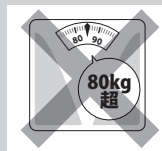


浴槽手すりに過度な荷重を
かけないこと

反動をつけて使用したり、全体
重が製品にかかるような乱暴な
使いかたをすると、製品が浴槽
から外れるおそれがあります。

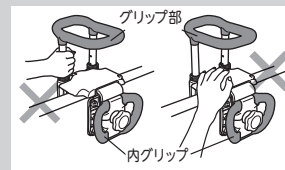


体重が80kgを超える方は
使用しないこと



グリップ部、内グリップ以外の部分を支え
にしないこと

手がすべるおそれ
があります。



注意



温泉水や、入浴剤
は使用しないこと

製品が劣化する原因
になります。

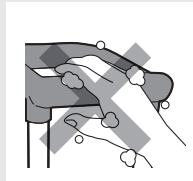


塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている
浴槽には使用しないこと

製品が劣化する原因になります。
※通常の水道水では問題ありません。

製品や手に石鹸や洗剤の
泡が付着した状態で使用
しないこと

手がすべり、けがの原因にな
ります。



取り付け条件に適合している場合でも、長期の使用
による浴槽の劣化や利用状況によって浴槽破損の
可能性があります。使用中に異常を感じた場合は、
P18～20 のお手入れしましょうをご確認ください。

確認しましょう

安全上の注意

取り付けの前に

取り付けましょう

使いましょう

お手入れしましょう

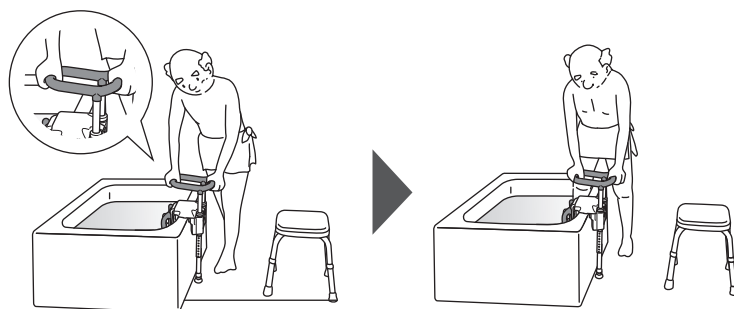
困ったときには

使いましょう

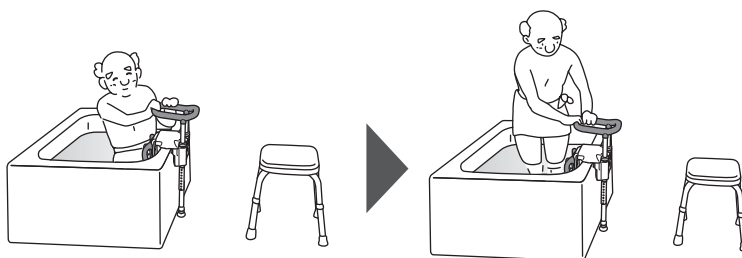
1. 浴槽をまたぐときに使用する

両手でグリップ部をしっかり握って、片足ずつゆっくりと移動してください。

両手でしっかりグリップ部を握ってください。



2. 浴槽内からの立ち座りに使用する



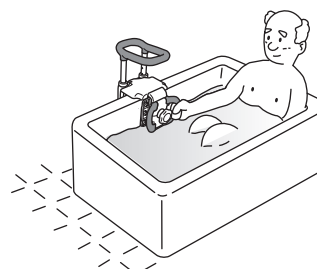
3. 洗い場で、いすからの立ち座りに使用する

グリップ部を握って、身体を支えながら立ち座りを行ってください。
※シャワーベンチを併用すると、より安心して立ち座りできます。



4. 浴槽内での姿勢安定に使用する

内グリップは「浴槽内での姿勢を安定させるとき」と「立ち上がり時に体を引き寄せるとき」に使用してください。





お手入れしましょう

浴槽手すりとは、下記の手順に従って、こまめにお手入れしてください。

注意



45℃以上のお湯は使用しないこと

ゴムシートがはがれやすくなります。

足の上などに落とさないこと

本製品は重いため、けがや床の凹みの原因になります。



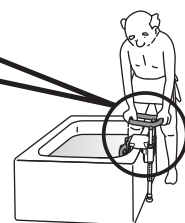
お掃除のしかた

日常のお手入れ方法（カビの発生予防）

カビやぬめりが発生するとすべりやすくなる原因となります。
こまめにお手入れしてください。

※十分なお手入れをしても、使用環境によっては、カビが発生してしまう場合があります。

手で握るグリップ部分は特にカビが発生しやすい要注意箇所です。



① 使用後、製品にお湯をかけ、中性洗剤で洗う（カビの栄養を洗い流す）

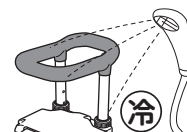
- ・ご使用になった製品にお湯をかけ、湯あかなどのカビの栄養素を洗い流します。
- ・中性洗剤をうすめて、スポンジかやわらかい布にふくませ、汚れをとってください。



△やけどには十分にお気をつけください。

② 冷たい水かける（温度を下げる）

- ・次に、きれいな冷たい水で洗剤を洗い流し、熱気がこもらないように冷やします。



③ 水気を取り乾燥させる

- ・最後に、製品の水気を乾いた布でとり、かげ干ししてください。

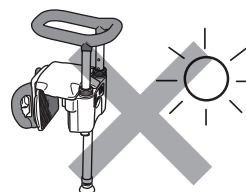


※製品を浴槽から取り外し、再度取り付けるときはP.16の「ご使用になる前に」を確認してください。

※消毒はアルコールを使用してください。

保管のしかた

直射日光の当たらないところで保管してください。



確認しましょう

！安全上の注意

✕取り付けの前に

✕取り付けましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

お手入れしましょう

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

毎回の点検（必ず行うこと）

お手入れして取り付けした後や、ご使用になる前に製品がしっかりと浴槽に固定されているか確認してください。

確認方法

製品を前後左右に軽くゆらして、ゆるんでいないかを確認



ガタついたりズレ動いたりした場合は、製品を取り外し、P.12 を参照しながら浴槽へ再度取り付け、しっかり固定してください。
※取り付け面のぬめりは拭き取ってください。

注意



製品を取り付けたままの状態から、ハンドルを回すだけのしめなおしを行わないこと
製品を取り外さずハンドルだけしめると、浴槽が破損する原因になります。
しめなおしを行う際は、一度製品を取り外し、改めて設置しなおしてください。

製品の取り付け方法は、12 ページ「取り付けましょう」へ

異常時の点検

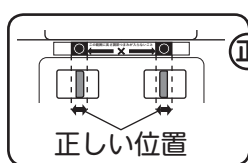
ガタつきが毎回の点検でなおらない場合、以下をご確認ください。

以下の対応でガタつきがなおらない場合はただちに使用を止め、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

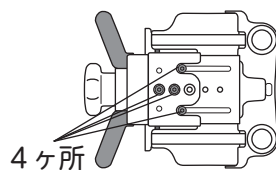
① 以下の部分のネジがゆるんでいないこと、高さ調節用つまみが正しい位置にあること、ガタ防止キャップがしまっていることを点検してください。

ネジ固定部分

高さ調節用つまみが正しい位置にあること



※スライドカバーを開ける



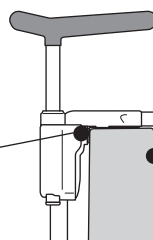
ガタ防止キャップ



ガタ防止キャップがしまっていること

② 押圧ゴム板やゴムシートが外れていないことを確認してください。

② 押圧ゴム板（小）

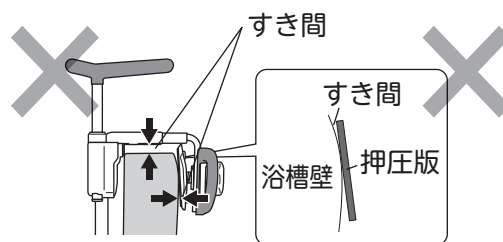


① 押圧ゴム板（大）

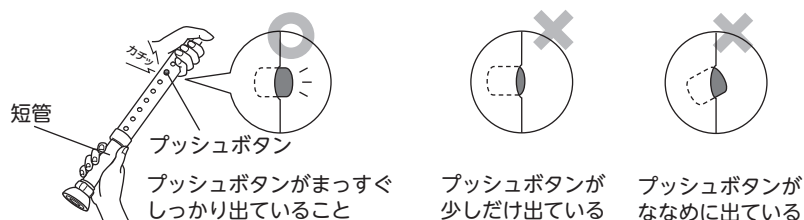
①、② 押圧ゴム板が外れた場合は、P.20「各 부품の交換方法」の押圧ゴム板（大）押圧ゴム板（小）を参考にしてはめなおしてください。

凸部が破損するなどしてはめられない場合は、新しい押圧ゴム板に交換してください。

- ③浴槽と製品の間ですき間がないことを確認してください。



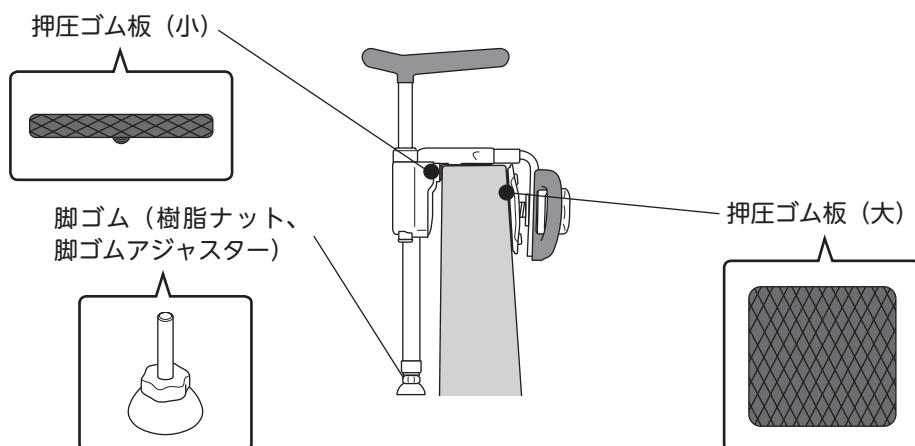
- ④高さ調節用のプッシュボタンが完全に飛び出して固定されていることを確認してください。



- ⑤脚ゴムが床面にきちんと接していることを確認してください。

- ⑥消耗品に異常がある場合は、交換してください。

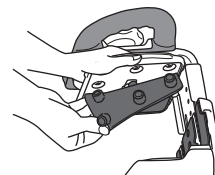
押圧ゴム板、脚ゴムは交換部品です。汚れたり、破損した場合は、お買い求めになった販売店にお問い合わせの上ご購入し、交換してください。



各部品の交換方法

押圧ゴム板 (大)、押圧ゴム板 (小)

- ①押圧板のゴム板を端からはがしてください。
- ②新しいゴム板の裏面の凸部を押圧板凹部にはめ込んでください。



確認しましょう

安全上の注意

取り付け前に

取り付けましょう

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

? 困ったときには

よくあるご質問

Q.1 浴槽に取り付けた後、浴槽手すりがガタつきます。



A. P.19 の「毎回の点検」「異常時の点検」を確認し、対処してください。

Q.2 ハンドルが空回りします。

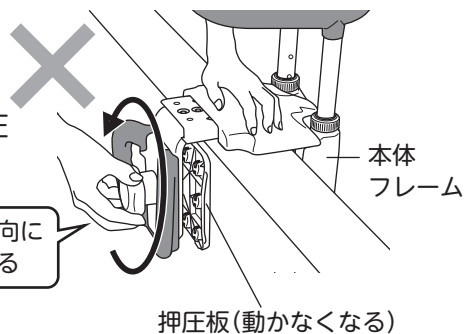


A. 以下に従い、ハンドルの空回りを戻してください。

ハンドルが空回りしたときの解除方法

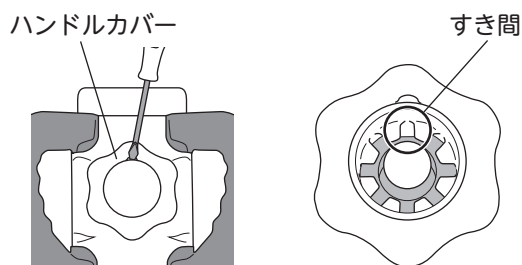
●空回りの状況

ハンドルを左に回し過ぎるとハンドルがロックし、押圧板が動かなくなる場合があります。



●解除方法

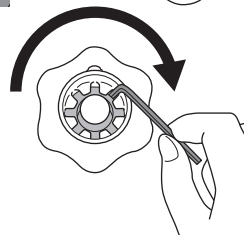
- ① マイナスドライバーをハンドルのすき間に差し込み、ハンドルカバーを外します。
- ② 一ヶ所だけ窪んでいるすき間に棒状の工具（付属の六角レンチなど）を差し込みます。
- ③ 棒状の工具を差し込んだままハンドルを矢印の方向に回します。



注意



棒状の工具以外の折れる可能性があるもの（ペン、はしなど）を使わないこと
製品の破損の原因になります。



Q.3 カチツとなるまでハンドルをしめられません。



A. カチツとなるまで、両手や濡れぞうきんをハンドルにまくな
どして、ハンドルを回してください。
(それでも回らない場合は、お買い求めの販売店までご相談ください)

Q.4 調節用のネジ(フレーム抜け止めネジ、フレーム固定ネジ)をなくしてしまいました。



A. 市販品は絶対に代用せず、弊社お客様相談室までご相談くだ
さい。

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造な
どを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきま
すので、製品に保証書(取扱説明書)を添えて、
お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望
により有料で修理させていただきます。
部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃
番後3年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供
給、または修理できないケースがございますの
でご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成され
ています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部
品交換・調整・修理完了時の点検などの作
業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助
材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室

0120-86-7735

(受付時間)祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しよう

！安全上の注意

✕取り付けの前に

✕取り付けましょう

👤使いましょう

👤お手入れしましょう

？困ったときには

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 押圧ゴム板やゴムシートなど消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 ご芳名 TEL
★販売店	住 所 〒

この保証書はご使用できません

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

19.10 919133-3